

きる。

<短 所>

- (1) 評価基準Aから、評価基準A'をつくる際に、教師の主観が介入する余地がかなり大きい。
- (2) 評価基準A'は、基礎的な知識、技能など合否の判定が明確である目標・内容については、その客観性、信頼性も相当に認められるが、高度の教育目標や内容に関するものについては、その設定についての理論は何もない。そのため、教師の独り善がりの評価が行われやすくなる。

2 相対評価について

相対評価とは、集団の成績そのものを評価基準とみて、個々の成績を、この集団の中に位置づけて評価する方法をいいます。

具体的には、

- 個人の成績を順位で表す。
- 個人の成績をT得点やパーセンタイルで表す。
- 集団の平均値を中心として、集団の成績を3段階や5段階又は10段階に分け、個々の成績を段階によって評価する。この場合、各段階のパーセントは、ある程度考慮して決める。

集団の成績が正規分布をする場合、5段階または10段階相対評価の各段階のパーセントは、次の図15から決める。

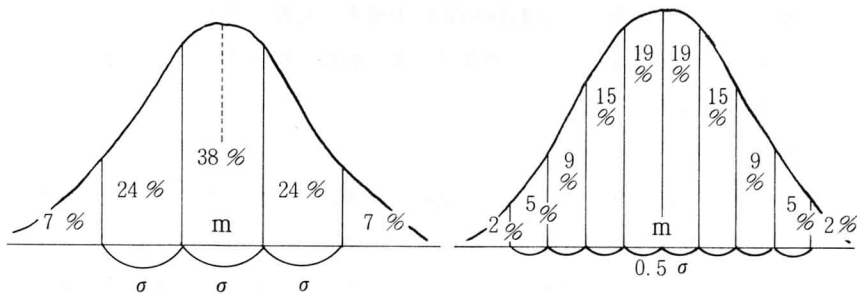


図15 相対評価の段階別パーセント